

次期の見通し

平成 19 年度の販売電力量については、景気の緩やかな回復傾向を背景に、産業用需要の増加が見込まれることに加えて、前年度の記録的な暖冬により減少した暖房需要の反動増が予想されることから、前年度に比べて 2.1 % 増の 2,937 億 kWh を見込んでおります。

売上高については、電気事業において、販売電力量の増加による電気料収入の増加が見込まれることなどから、連結で 5 兆 4,000 億円程度、当社単独で 5 兆 1,200 億円程度になるものと見込んでおります。

費用面では、電気事業において、販売電力量の増加や原子力発電電力量の減少などによる燃料費の負担増や、減価償却費の制度変更に伴う増加などが予想されます。

これらにより、経常利益は連結で 4,000 億円程度、当社単独で 3,500 億円程度、当期純利益は連結で 3,100 億円程度、当社単独で 2,850 億円程度を予想しております。

< 連結 >

売上高	5 兆 4,000 億円程度
経常利益	4,000 億円程度
当期純利益	3,100 億円程度

< 単独 >

売上高	5 兆 1,200 億円程度
経常利益	3,500 億円程度
当期純利益	2,850 億円程度